

# 北海道浮魚ニュース

平成 25(2013)年度 13 号

2013 年 8 月 29 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・分布密度は前年より高く、東側の調査点で高密度。
- ・魚体は前年よりやや大きい。

- ・調査期間：2013 年 8 月 20～28 日
- ・調査海域：道東太平洋沿岸
- ・調査船：北辰丸（釧路水産試験場）
- ・調査方法：イカ釣機 6 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

### 1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 10 調査点すべてで漁獲され、十勝沖から根室沖までの広い海域に分布していました(図 1)。各調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.1～63.8 で、東側の 3 調査点で高い値を示し、浜中沖が 63.8 と最も高くなっていました。全調査点の平均分布密度は 18.4 で、前年(7.6)を上回り、2000 年以降 2 番目に高い値となりました(図 2, 表 1)。

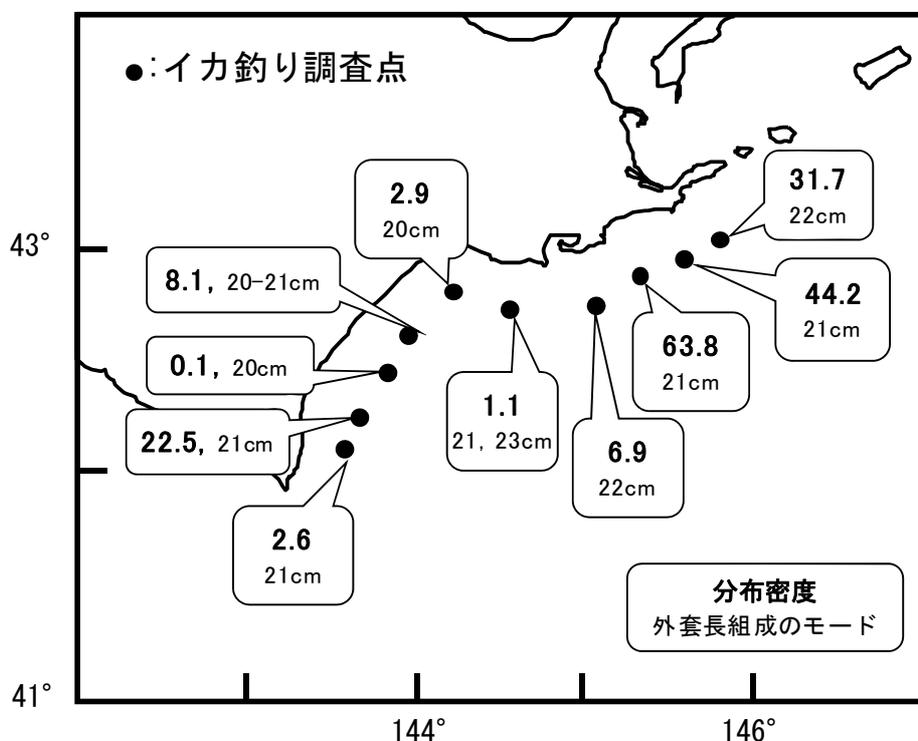


図 1 2013 年 8 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード  
※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。  
※モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

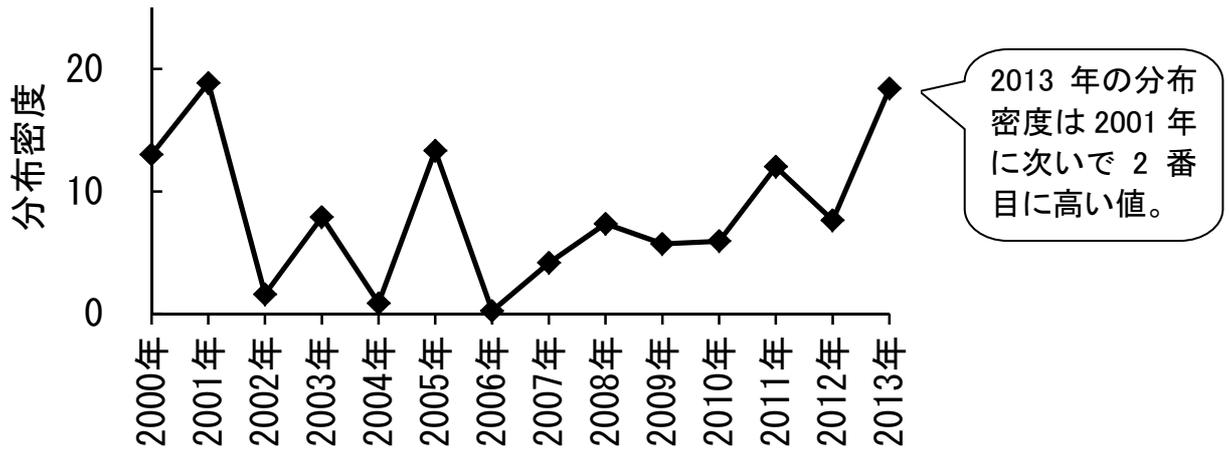


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの平均分布密度

## 2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成のモードは21cmで、前年(20cm)より大型でした(図3, 表1)。各調査点の外套長組成のモードは、20~23cmに見られました(図1)。

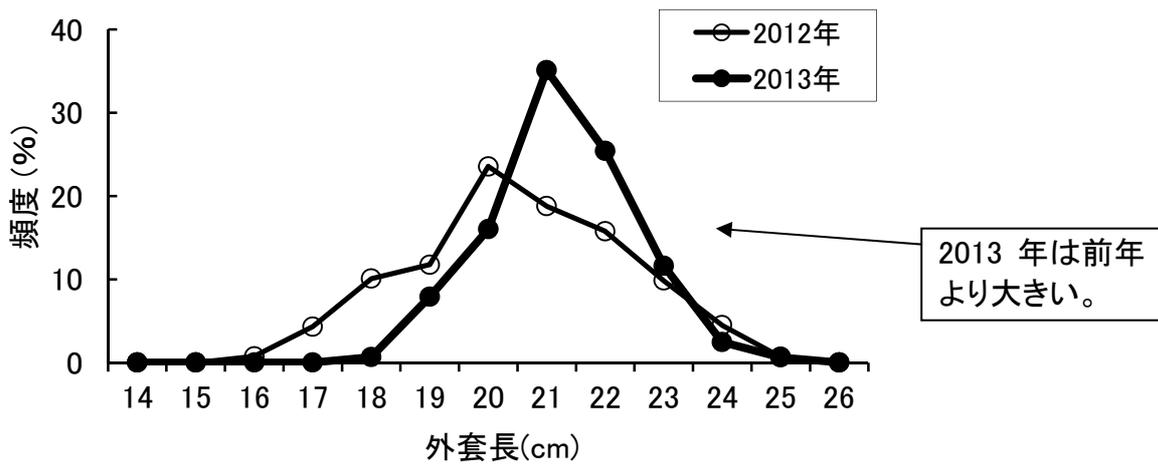


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

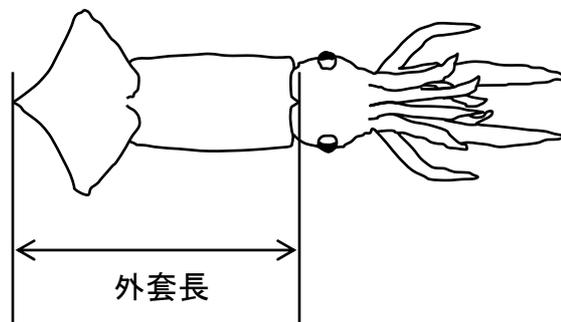


表1 2009～2013年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2009年 8/18～23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17～26	1,212	5.93	16-23	19	10
2011年 8/16～25	2,190	12.00	14-26	21	10
2012年 8/20～28	996	7.64	16-25	20	10
2013年 8/20～28	2,672	18.39	18-28	21	10

### 3. 表面水温

道東太平洋 10 調査点の表面水温はで 15.8～20.4, 平均 17.9℃と, 前年(14.1～19.2℃, 平均 16.9℃)より高くなっていました。

### 4. 標識放流調査

道東太平洋の 3 調査点で標識放流調査を実施しました(表 2)。タグの付いたイカを見つけた方は, 釧路水産試験場または最寄りの水産試験場までお知らせくださいますようお願いいたします。

表2 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流位置	標識タグ	尾数
2013年8月25日	42° 52' N	黄色・クシロ	400尾
	145° 20' E	3100～3299	
	(浜中沖)	3500～3699	
2013年8月26日	43° 02' N	黄色・クシロ	321尾
	145° 48' E	5000～5324	
2013年8月26日	(花咲沖)		
	42° 57' N	黄色・クシロ	523尾
145° 36' E	5325～5874		
	(落石沖)		

○本調査結果と他の研究機関の調査結果をもとにして, 第 2 次スルメイカ漁況予報が 9 月下旬に発表されます。

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)